

日胆・函館・後志

ニュースの
お知らせは

最寄りの支社局

苫小牧支社

☎0144(33)0161

FAX(31)2209

函館支社

☎0138(52)3870

FAX(33)2185

小樽支社

☎0134(33)0866

FAX(21)2031

室蘭支局

☎0143(24)5188

FAX(25)2235

小樽開建

第2バース87m

小樽港中央 21年度以降事業 予防保全

【小樽】小樽開建は、現在進めている小樽港中央地区予防保全で、2021年度以降にマイナス10岸壁改良の第2バース分87m、第1バースの一部舗装を残している。このほか、執行残を活用し、マイナス10岸壁の土捨てなど小規模工事を20年度内に執行することを検討中。21年度は、第2バースで岸壁改良を継続するほか、小樽市でも国際旅客船ターミナルを整備する計画で、大型クルーズ船受け入れ体制の完成が見えてきた。

大型クルーズ船受け入れへ

中央地区第3号ふ頭バース194岸と、西側のマイナス9岸壁(第2バース)167岸に改良を施し、第2バースを第1バースと同じ水深10岸にする浅瀬を実施する。

19年度に第1バース岸壁改良を終え、20年度から第2バースに取り掛かった。構造は矢板式で、一部では地盤改良も施す。20年度内に第2バース岸壁改良を約80m施工し、マイナス10岸壁(第1

公共施設の老朽化対策

泊村が強化地域計画策定

【小樽】泊村は、2020～24年度の5カ年を期間とする国土強靱(きょうじん)化地域計画をまとめた。建設関連の取り組みでは、公共施設の老朽化対策や道路泊村線の早期開通などを盛り込んだ。

大規模自然災害に備え、防災や減災に関わる施策を総合的、計画的に推進するため、国は全ての地方公共団体に国土強靱化地域計画の策定を求めている。

想定するリスクとして

災害対策など予算確保を

室蘭建協が開建に要望書

【室蘭】室蘭建設業協会は14日、社会資本整備に関する要望書を室蘭開建に提出した。中田孔幸会長が平沢充成部長に手渡し、自然災害対策、道路網整備、港湾、農業農村整備の各促進などを要望。これらを通して、地域の防災、減災に必要な基礎施設整備、地元中小建設業の経営安定化が果たされると訴えた。

同開建庁舎で開いた意見交換会で提示。建設からは中田会長、山口志郎、池田尚登副会長ら4

踏まえ、集落の孤立化防止や救助ルート確保に向け、道道泊村線の早期

このほか、老朽化した空き家からの火災や暴風による倒壊の恐れがあることから、空き家対策を推進。発災後の迅速な復旧・復興を図るため、土地境界の把握に必要な地籍調査も実施する。



バックホーで施工後、測量して誤差などを確かめた

勇払東部の現場に導入

手塚産業が全国で初めて

【苫小牧】手塚産業(本社・苫小牧)は、全国で初めてコマツのスマートコンストラクション・レ

トロフィットキットを導入した。現在は、室蘭開建発注で荒井建設(同・旭川)が施工する、勇払

東部地区厚幌導水路5区工区ほか復旧の現場で実証作業を進めており、測量精度などを確かめた上で、本格的な導入を始めると考えた。

レトロフィットキットは、既存の建機に後付け

平沢部長は「こども熊本をはじめ大きな自然災害が多発しており、管内でも日本海溝、千島海溝沿いの巨大地震と津波、有珠山噴火などの災害リスクを有している。迅速な災害復旧、復興には協会との連携が必要不可欠だと応じた。



【室蘭】藤川建設(本社・室蘭)は12日、室蘭市東町3丁目の東大通で草刈りごみ拾いのボランティアをした。写真。室蘭市と市民で推進する環境美化活動「まちび



午前9時から1時間半の間、草刈り機で道路沿いの雑草を除去したほか、空き缶などを拾い集めた。収集した草ごみの量は20袋入りのごみ袋50袋分に達した。

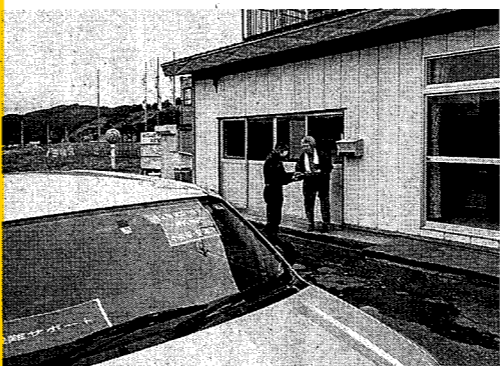
【小樽】余市町議会は14日の第3回定例会で、一般会計に4億7911万4000円を追加する補正予算案を可決した。新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した光ファイバー整備の負担金1億9004万5000円などを盛り込んだ。

避難支援の手順確認

厚真町幌内自治会訓練で

【苫小牧】厚真町の幌内自治会自主防災会の避難訓練が12日に行われた。ボランティアで避難支援をするため、幌内地区の災害復旧工事に携わる、胆振東部地震災害復旧工事厚真町安全連絡協議会幌内地区部会(渡辺真史部会長)から5社が参加。参加企業は、車などがなく避難が困難な高齢者の支援に向け、声掛けや安全確認などの作業手順を確認した。

参加したのは、山口工



3Dマシンガイダンス機能などのICT機能を追加できるシステム。同社ではこの7月9日にバックホーにシステムを搭載した。

同現場は、北海道胆振東部地震で被災した厚幌

【小樽】黒松内町議会は11日の第3回定例会で、一般会計に1億848万8000円を追加する補正予算案を可決した。建設関連では、光ケーブル増設の工事費1500万円などを盛り込んだ。

光ケーブル増設には、高度無線環境整備推進事業と新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用する予定。東条地区の1950岸が対象で、公設民営方式を採用する方針だ。2020年度の設計、21年度の

め、幌内マナビハウスで事前説明してから訓練を開始。参加企業は、避難が困難な高齢者宅へ行き、安全を確認して災害対策本部に連絡する訓練を実施した。有事の際の幌内地区住民の避難場所(総合福祉センター)で、企業がボランティアが各社の車でそこまで連れて行くことになった。

室蘭建管舎小牧出張所の足立浩所長は「有事を想定し防災訓練をするのが重要。ボランティアで参加している部会企業の協力がある」と話している。

【函館】函館市の工藤寿樹市長は、14日の2020年第3回定例会で、一般会計で、今後1カ月以内に観光需要の喚起に向けた施策を新設することを明らかにした。宿泊費の補助などを視野に入れている。予備費や補助事業に関する不用品などを財源として活用する見込み。冬季の客足落ち込みに対応したいと考えた。

誘客促進へ

函館市 宿泊費

【函館】江差町は、16日開会の第3回定例会で追加する一般会計補正予算案を提出する。新型コロナウイルス対策がメインで、高度無線環境整備や全町民に発行する商品券事業なども盛り込んでいる。

主な事業では、高度無線環境整備の負担金などを合わせて7355万円を投入。コロナ禍への対応として、町内に光ファイバーの情報通信基盤を構築する。NTT東日本による民設民営方式で整備を進める考え。規模は光ケーブル敷設約71km(架空62km、地下9km)、電柱添加

高度無線環境整備など2.6億円

江差町補正案

【小樽】小樽開建は、現在進めている小樽港中央地区予防保全で、2021年度以降にマイナス10岸壁改良の第2バース分87m、第1バースの一部舗装を残している。このほか、執行残を活用し、マイナス10岸壁の土捨てなど小規模工事を20年度内に執行することを検討中。21年度は、第2バースで岸壁改良を継続するほか、小樽市でも国際旅客船ターミナルを整備する計画で、大型クルーズ船受け入れ体制の完成が見えてきた。

光ケーブル増設費を補正

黒松内町

【小樽】小樽開建は、現在進めている小樽港中央地区予防保全で、2021年度以降にマイナス10岸壁改良の第2バース分87m、第1バースの一部舗装を残している。このほか、執行残を活用し、マイナス10岸壁の土捨てなど小規模工事を20年度内に執行することを検討中。21年度は、第2バースで岸壁改良を継続するほか、小樽市でも国際旅客船ターミナルを整備する計画で、大型クルーズ船受け入れ体制の完成が見えてきた。

このほか、老朽化した空き家からの火災や暴風による倒壊の恐れがあることから、空き家対策を推進。発災後の迅速な復旧・復興を図るため、土地境界の把握に必要な地籍調査も実施する。